

おおまち

## ボランティアニュース

発行 大町市社会福祉協議会内  
大町市ボランティアセンター  
長野県大町市大町1129  
(東町 総合福祉センター内)  
TEL (0261) 22-1501  
FAX (0261) 22-7071  
URL <http://www.omachishakyo.org/>

## 登録ボランティアグループ紹介

## 大町民話の里づくりもんぺの会

## グループ立上げのきっかけは...

紙粘土でこの地に伝わる民話人形を作り、文化財センターで企画展を開催した。その時に、読み聞かせのグループが、「すばらしい人形の前で、民話を次世代に語り継いで行こう」と同じ思いを抱いた人が集まり、人形制作と語りの両輪の活動が始まりました。(発足は、平成17年)

## 名前の由来は...

「もんぺ」は昔の作業服です。「よし！もんぺを着て、まちづくりにひと働きがんばろう」と名付けました。

## どんな活動をしていますか...

民話人形は、信濃大町駅隣のアルプスロマン館に常設展示し、また幼稚園・学校・福祉施設などでは、人形を展示し語りをしています。子どもたちは、目を丸くして聞き入ってくれます。また、各地域の行事や観光イベントにも語りに出掛けますよ。JRのリゾートビューふるさとの車内でも、おもてなしの心で沿線の案内や語りをしています。

## メッセージ...

民話を語り継ぎ、地域の歴史や風土に触れることで、ふるさとを誇りに思い、まちづくりにもつながると思います。人と人のふれあいを大切にし、その笑顔を励みにこれからも活動していきます。

大町弁丸出しのもんぺの会だがせ、毎月第2金曜日夜7時から寄り合ってるで、顔出して見ねえかい。そりゃ話しあさちらくだがせ、おもしろえんね！

当日は、要約筆記があります。

どなたでも参加できます。大勢の方の参加をお待ちしています。

今回は「お互いさまのまちづくり」をテーマに、ボランティア活動や地域福祉活動に取り組む様子の発表や講演を通じて、お互いの活動に関する学習とボランティア同士の交流、地域のつながりをつくることを目的に開催します。

## お互いさまのまちづくり

## 大町市ボランティア交流研究集会開催



今年2月のボラ研の様子



日時	平成26年 2月1日(土)
午後1時～4時	(受付12時30分～)
会場	サン・アルプス大町 2階大会議室 (大町文化会館隣)
内容	福祉啓発標語と福祉輸送サービス 車受称入選者表彰
表彰	雪かき支援員と小地域福祉ネット ワーク等の活動発表
演奏	「大町ギター・マンドリン」の演奏
講演	「今、求められる ボランティア活動」(仮称) 講師 K.T.福祉研究所 所長 松藤和生氏
講師紹介	まつふじ かずき氏 幼少期より多数のボランティア活動

参加費 無料

申し込み

1月24日(金)までに社協へ

大町市社協 TEL 22-1501

FAX 22-7071

## 男性の料理教室

食に興味のある方、料理初心者の方、どなたでもお気軽にご参加ください。冬の季節ならではの料理を作り、みんなで交流しながら楽しいひとときを過ごしましょう。

日時 平成26年2月6日(木)

午前9時30分～午後1時

場所 大町公民館 分室

調理実習室

定員 16人(先着順)

講師 長島勇次さん

郷土料理研究家

費用 500円(材料費として)

持ち物 エプロン・三角巾

申し込み・問い合わせ先

大町市社協 TEL 22-1501

FAX 22-7071



## 楽しいレクリエーション&lt;69&gt;

## もちつきペッタン

「ペッタン、ペッタン！」おもちつきのように、楽しく手を打ち合わせるゲームです。

## ・ゲームの進め方

・4人1組ずつに分かれます。

・まずは2人ずつで

向かい合い「1回

拍手、1回お互い

の両手のひらを打ち

合わせる」という動き

を練習してみましょう。

・次に、4人で向かい合います。正面にな

った2人で「拍手、両手、

拍手…」もう2人は「両

手、拍手、両手…」という

ように、ぶつからないように

タイミングよく交互にくり返します。

・おもちつきのように、「ペッタン、ペッ

タン！」と楽しくやりましょう。

## ・ポイント

慣れるまではゆっくりしたテンポで、お互いの息を合わせるようにします。慣れてきたら、全員で歌いながらやってみたり、だんだんと少しずつテンポを早くしてみるのもおもしろいです。

## ・もうひと工夫

難易度アップには「1回拍手、1回ヒザをたたく、2回手を打ちあわせる」で4拍として、同じようにやってみましょう。



手作りてまり 寄贈 (デイみさかで)

## 手話を覚えよう!

◎ 正月おめでとう! 今年もよろしくお願いします。

① 正月



両手人差し指を左右から引き寄せて上下に置く

② おめでとう



指を上に向けてつまんだ両手5指を上へ上げながら開く

③ 今



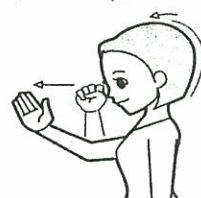
両手掌を下に向けて並べ、軽く下ろして静止し、

④ 年



左手拳の親指側に右手人差し指を下ろしてあてる

⑤ よろしくお願いします



鼻先に置いた右手拳を開きながら、前へ出し、軽く頭を下げる

疑似体験で  
相手の気持ちを  
自然の資質向上のために

・自然の資質向上のために

10月24日(木)市立大町総合病院と12月9日(月)大北平支所で、それぞれの職員が利用者に対する資質向上を目的に、高齢者疑似体験を行いました。大町総合病院では、患者や高齢者の目線に立った病院づくりを目指し、新人看護師と療養病棟の介護士が体験。療養病棟の介護士は、とくに食事の面で「楽しさ」にしている食事を、一人でじょうずに食べられるようにという工夫の器具を試しながら、介護員と高齢者の両方の立場を体験しました。また大北平支所では、利用者の高齢化に伴う接客を職場で体験。利用者と職員の両方の立場になって、出入口の階段やスロープの昇降、伝票に記入、窓

## 相手を理解するために

市内の小中高校では、さまざまな福祉体験を行っています。車いす体



窓口での応対体験

ロカウンターや電話での応対など高齢者疑似体験グッズをつけて体験しました。体験後は、「顔を見て話さざり」と話すこと、「相手の気持ちになつて、今まで以上に親切に應對すること」などが必要との感想がありました。



高校での高齢者疑似体験

験、高齢者疑似体験、点字学習、アィマスク体験、手話学習や障がい者との交流も盛んに行われています。疑似体験や交流することは、障がい理解し不便さをなくすために必要です。そして話し合い、支えあいと共生を考へることは大切なことです。社協ボランティアセンターではそんなお手伝いをさせていただいてます。

寄贈  
心温まる  
手作りてまり

12月11日(水) デイサービスセンターみさかで、八坂在住の山崎キミエさん(93歳)より、手作りの松本てまり100個を寄贈いただきました。山崎さんは、60歳を過ぎてからてまり作りを習い、八坂地区をはじめ、カ所で20年間教室を開き、その後は趣味で続けてこられたそうです。山崎さんは、「てまり作りは、模様や色合いを考えると、頭も使うし手先を動かすので健康にもつながると思います。福祉施設の利用者の皆さんに渡してもらえたら」と笑顔で話されました。

## 手話を覚えよう!

◎ 正月おめでとう! 今年もよろしくお願いします。

① 正月



両手人差し指を左右から引き寄せて上下に置く

② おめでとう



指を上に向けてつまんだ両手5指を上へ上げながら開く

③ 今



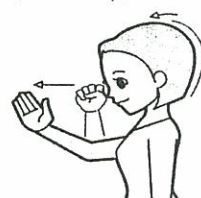
両手掌を下に向けて並べ、軽く下ろして静止し、

④ 年



左手拳の親指側に右手人差し指を下ろしてあてる

⑤ よろしくお願いします



鼻先に置いた右手拳を開きながら、前へ出し、軽く頭を下げる